



平成25年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年11月14日

上場会社名 株式会社 オービック
 コード番号 4684 URL <http://www.obic.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役経営企画室長
 四半期報告書提出予定日 平成24年11月14日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有

(氏名) 野田 順弘
 (氏名) 加納 博史
 配当支払開始予定日

TEL 03-3245-6510
 平成24年11月28日

上場取引所 東

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第2四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	24,677	2.0	10,032	6.7	10,973	3.0	6,844	△0.5
24年3月期第2四半期	24,199	2.1	9,403	8.7	10,655	0.8	6,879	6.7

(注) 包括利益 25年3月期第2四半期 5,116百万円 (6.0%) 24年3月期第2四半期 4,825百万円 (△2.4%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円銭	円銭
25年3月期第2四半期	726.41	—
24年3月期第2四半期	730.16	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円銭
25年3月期第2四半期	137,044	119,499	87.2	12,683.10
24年3月期	131,741	116,031	88.1	12,315.01

(参考) 自己資本 25年3月期第2四半期 119,499百万円 24年3月期 116,031百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭
24年3月期	—	175.00	—	175.00	350.00
25年3月期	—	200.00	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	200.00	400.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
通期	50,500	4.3	19,000	6.2	21,000	4.5	13,500	—	1,432.82

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 ― 社 (社名) 、 除外 ― 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

25年3月期2Q	9,960,000 株	24年3月期	9,960,000 株
----------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数

25年3月期2Q	538,049 株	24年3月期	538,049 株
----------	-----------	--------	-----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年3月期2Q	9,421,951 株	24年3月期2Q	9,421,951 株
----------	-------------	----------	-------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

平成24年4月25日発表の通期連結業績を修正していません。上記の予想は、現時点において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。詳細は【添付資料】3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9
3. 補足情報	10
(1) 生産、受注及び販売の状況	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、東日本大震災の復興需要等による内需が堅調に推移しつつも、米国経済は個人消費を中心に回復する一方で欧州の債務問題は依然として不確実性が高く、さらに中国経済の成長鈍化から輸出の減少幅が拡大しており、円高の状態が続いています。そのため、景気はなお先行きに対する不透明感が拭えない状況であります。

当情報サービス業界においても、企業のシステム投資に対する姿勢には依然として慎重さがみられ、厳しいビジネス環境が続いております。このような環境の中で、企業のニーズは「効率的でコストパフォーマンスの高い情報システム」にあり、さらなる顧客目線でのシステム提案が求められております。

当社は、このような状況の中、営業とシステムエンジニアが一体となってビジネスに対応する製販一体体制を強化するとともに、社員一人ひとりの成長を目指した社員教育に注力することで提案力の強化・生産性の向上を図り、顧客満足度を高めるべく努めてまいりました。

当社の主力である基幹系統合業務ソフトウェア「OBIC7シリーズ」は、会計情報システムを中心に販売・生産情報システムなどが様々な業種の企業に幅広く求められました。主な傾向として、大企業向けのシステム構築が好調に推移しています。業種・業務別のソリューションでは、金融機関向けの不動産担保評価・管理システムや信用リスク管理ソリューション、そして案件ごとの進捗管理や採算管理が可能な「プロジェクト別採算管理システム」などが幅広く求められました。また、採算性の良いシステムサポート事業が安定的に伸長し、業績に寄与いたしました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の連結業績は、売上高246億77百万円(前年同期比2.0%増)、営業利益100億32百万円(同6.7%増)、経常利益は109億73百万円(同3.0%増)、四半期純利益は68億44百万円(同0.5%減)となりました。

今後も当社は、顧客第一主義のもと、よりコストパフォーマンスの高いシステム提案ビジネスに注力し業績の向上に努めてまいり所存であります。

セグメントの業績は次の通りであります。

(A) システムインテグレーション事業

製販一体での直接販売によって、リソースを意識しつつ、幅広いニーズを捉える顧客満足度の高い提案活動を続けております。その結果、主力の基幹系統合業務ソフトウェア「OBIC7シリーズ」は、会計を中心に、販売・生産情報システムなどが様々な業種の企業で求められております。主な傾向として、大企業向けのシステム構築が好調に推移しています。業種・業務別のソリューションにおいては、金融機関向けの不動産担保評価・管理システムなどが堅調に推移いたしました。一方、ハードウェアの販売は減少しております。

この結果、外部顧客に対する売上高は、152億3百万円(前年同期比1.0%増)、営業利益は61億4百万円(同4.4%増)となりました。

(B) システムサポート事業

当社の主力サービスであるシステムの「運用支援サービス」が順調に伸長しております。

この結果、外部顧客に対する売上高は、67億70百万円(前年同期比5.1%増)、営業利益は36億29百万円(同12.0%増)となりました。

(C) オフィスオートメーション事業

景況感の不透明さから中小企業の設備投資が低迷する中、引き続き、付加価値の高い業務用パッケージソフトの提案に注力しております。また、印刷サプライや家具などのオフィス用品の販売が堅調に推移しております。

この結果、外部顧客に対する売上高は、27億4百万円(前年同期比0.3%増)、営業利益は2億98百万円(同5.0%減)となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は456億14百万円となり、前連結会計年度末に比べ、60億4百万円増加いたしました。各キャッシュフローの状況とそれらの要因は次の通りであります。

(営業活動によるキャッシュフロー)

営業活動の結果増加した資金は、83億30百万円であります。これは主に、税金等調整前四半期純利益が105億95百万円計上されたほか、利息及び配当金の受取額が13億74百万円計上された一方で、法人税等の支払20億35百万円が発生したことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュフロー)

投資活動の結果減少した資金は、6億77百万円であります。これは主に有形固定資産の取得・売却により16百万円減少したことと、投資有価証券の購入・売却により6億61百万円減少したことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュフロー)

財務活動の結果減少した資金は、16億48百万円であり、これは配当金の支払によるものであります。

なお、今後とも資金を企業の業績伸長のため有効に使用しつつ、「効率経営」に努めてまいり所存であります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

当社は中長期的に安定した企業の発展を考え、豊富な受注残を確保しながら業績のオペレーションを行っております。主力であるシステムインテグレーション事業では、約6ヶ月の受注残の確保を目標としておりますが、当第2四半期連結会計期間末現在、概ね目標どおりの受注残を保有しており、業績は予定通り推移しております。よって、平成24年4月25日に公表しました業績予想の見直しは行っておりません。

2. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	41,609	47,614
受取手形及び売掛金	7,285	8,078
商品及び製品	93	72
仕掛品	614	590
原材料及び貯蔵品	79	81
その他	2,466	1,806
貸倒引当金	△12	△9
流動資産合計	52,136	58,233
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,650	3,574
土地	26,943	26,942
その他(純額)	333	272
有形固定資産合計	30,927	30,788
無形固定資産		
その他	66	57
無形固定資産合計	66	57
投資その他の資産		
投資有価証券	43,213	41,303
その他	5,402	6,665
貸倒引当金	△5	△3
投資その他の資産合計	48,610	47,965
固定資産合計	79,605	78,811
資産合計	131,741	137,044

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	2,847	2,835
未払法人税等	2,125	4,319
賞与引当金	2,162	1,883
役員賞与引当金	38	—
その他	3,277	3,192
流動負債合計	10,450	12,230
固定負債		
退職給付引当金	4,434	4,533
役員退職慰労引当金	689	645
資産除去債務	125	126
その他	9	8
固定負債合計	5,258	5,314
負債合計	15,709	17,545
純資産の部		
株主資本		
資本金	19,178	19,178
資本剰余金	19,530	19,530
利益剰余金	88,486	93,681
自己株式	△9,792	△9,792
株主資本合計	117,403	122,598
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	379	△1,347
土地再評価差額金	△1,751	△1,751
その他の包括利益累計額合計	△1,371	△3,098
純資産合計	116,031	119,499
負債純資産合計	131,741	137,044

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)
売上高	24,199	24,677
売上原価	9,780	9,604
売上総利益	14,418	15,073
販売費及び一般管理費	5,015	5,040
営業利益	9,403	10,032
営業外収益		
受取利息	310	10
受取配当金	117	180
投資有価証券売却益	5	10
持分法による投資利益	787	704
受取賃貸料	40	40
その他	48	60
営業外収益合計	1,310	1,006
営業外費用		
賃貸費用	58	58
その他	0	8
営業外費用合計	58	66
経常利益	10,655	10,973
特別利益		
固定資産売却益	394	0
特別利益合計	394	0
特別損失		
固定資産売却損	18	0
固定資産除却損	1	5
投資有価証券評価損	—	370
その他	0	1
特別損失合計	20	377
税金等調整前四半期純利益	11,029	10,595
法人税、住民税及び事業税	3,923	4,198
法人税等調整額	225	△446
法人税等合計	4,149	3,751
少数株主損益調整前四半期純利益	6,879	6,844
少数株主利益	—	—
四半期純利益	6,879	6,844

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	6,879	6,844
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,243	△1,627
持分法適用会社に対する持分相当額	△810	△100
その他の包括利益合計	△2,054	△1,727
四半期包括利益	4,825	5,116
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	4,825	5,116
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	11,029	10,595
減価償却費	177	158
投資有価証券評価損益(△は益)	—	370
持分法による投資損益(△は益)	△787	△704
退職給付引当金の増減額(△は減少)	67	98
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	22	△43
賞与引当金の増減額(△は減少)	△375	△279
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△30	△38
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△1	△4
受取利息及び受取配当金	△427	△190
投資有価証券売却損益(△は益)	△5	△10
固定資産売却損益(△は益)	△376	△0
固定資産除却損	1	5
売上債権の増減額(△は増加)	△477	△793
たな卸資産の増減額(△は増加)	43	43
仕入債務の増減額(△は減少)	△543	△11
その他	△127	△205
小計	8,191	8,991
利息及び配当金の受取額	402	1,374
法人税等の支払額	△3,758	△2,035
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,835	8,330
投資活動によるキャッシュ・フロー		
投資有価証券の取得による支出	△1,677	△690
投資有価証券の売却による収入	37	28
有形固定資産の取得による支出	△75	△17
有形固定資産の売却による収入	539	1
無形固定資産の取得による支出	△10	△0
その他	0	0
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,184	△677
財務活動によるキャッシュ・フロー		
配当金の支払額	△1,648	△1,648
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,648	△1,648
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	2,001	6,004
現金及び現金同等物の期首残高	34,754	39,609
現金及び現金同等物の四半期末残高	36,756	45,614

- (4) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

- (5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。

3. 補足情報

(1) 生産、受注及び販売の状況

①販売実績

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)		当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)		増 減
	金 額	構成比	金 額	構成比	
システムインテグレーション事業	15,060	62.2	15,203	61.6	143
システムサポート事業	6,441	26.6	6,770	27.4	328
オフィスオートメーション事業	2,697	11.2	2,704	11.0	6
合 計	24,199	100.0	24,677	100.0	478

②受注実績及び受注残高

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)		当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)		増 減	
	受注高	受注残高	受注高	受注残高	受注高	受注残高
システムインテグレーション事業	15,360	15,143	15,558	15,941	197	797
システムサポート事業	6,425	17,131	6,741	17,486	315	355
オフィスオートメーション事業	2,594	520	2,662	552	67	32
合 計	24,380	32,795	24,961	33,980	581	1,185